



巻頭エッセイ	1
シリーズ「福祉にみる“いのち”」③	2
コラム「人間を考える」⑩	3
2023年度講座案内	4

同朋大学 “いのちの教育” センター  
〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1  
TEL 052-411-1373  
Eメール宛先 inochi@doho.ac.jp

## ● 同朋大学 “いのちの教育” センターだより

2023年は浄土真宗において「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年」に当たります。真宗大谷派（東本願寺）では「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」をテーマとして慶讃法要が勤められました。今号の巻頭は昨年度の講座の最後に慶讃法要のテーマでお話しいただいた市野智行先生の文章です。また古典文学の深奥、介護福祉の課題をよく学べる玉稿を頂戴し掲載できました。御味読いただけましたら幸いです。

# 2023.7.1 NO.58

## 人と生まれたことの意味をたずねていこう

市野 智行

2023年は、親鸞が誕生して850年、そして「浄土真宗」を明らかにして800年を控えた節目の一年です。真宗大谷派（東本願寺）では慶讃法要が営まれ、京都国立博物館では「親鸞展」が開催されました。その「親鸞展」には「いまこそ親鸞の声を聞く」とのテーマが添えられていましたが、改めて親鸞とはどのような人だったのか、多くの人がそれぞれに親鸞に思いを馳せたことでしょうか。そして、もれなく私もそのうちの一人です。

さて、親鸞は60歳を過ぎた頃に京都に戻ったと伝えられています。そして、亡くなるまでの約30年間、京都で生活をしていました。ただし、関東の門弟との交流は消息（手紙）という形で続きます。現在、43通（真筆11通を含む）が残っていますが、それらの言葉から「親鸞の声を聞く」ことができます。その中の一つに「人と生まれることの意味」について考えさせられる一通があります。この手紙は、親鸞80歳頃の手紙と言われていますが、関東で共に念仏の道歩んだ門弟（明法房）の逝去（往生）について語っています。

「往生をねがうしるし」として、生前の明法房の姿を「ともの同朋にもねんごろのころのおわしましあわばこそ」と偲んでいます。試みに「共なる命を生きる朋と互いに<ねんごろ>な心を持ち合わせていた」とも訳すことができるでしょうか。「懇ろ」には「丁寧な」という意味と、その字の成り立ちから「根を同じくする」という意味を見出すことができます。「根」ですから見えないところでの繋がりを意味しています。とするならば、明法房は「いのちに丁寧に向き合い、見えないつなかりを大切に生きようとした人」だったのかもしれませんが。そして、念仏者をそのように偲ぶ親鸞の言葉は、同時に「あなたは、いのちを丁寧に生きていますか?」「自分さえ、自分だけ、という世界に生きていませんか?」という私への問いかけとして聞こえてきます。

どこかで「私のいのち」といのちを私有化・所有化していくのが私たちです。その中にあって、いのちの根源、すなわち「人と生まれたことの意味」を共に尋ね歩もうとする姿に、親鸞はねんごろな心を感じていたのかもしれませんが。

（本学 文学部 准教授）

## 介護が必要になったときの在宅生活を どう支えるのかという問題

羅 佳

介護保険は2000年より正式にスタートしましたが、22年間経った今日でも、介護離職の問題や一人暮らし高齢者の孤独死等の問題が解決されないままであるように思われます。

内閣府の『高齢社会白書 平成30年版』によると、自分の介護が必要になった場合に「どこでどのような介護を受けたいか」という質問に対して、男・女ともに「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」と回答した者の割合が最も高いです（内閣府『高齢社会白書 平成30年版』）。「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」との質問に答えた者と合わせて、男・女ともに自宅で外部の介護サービスを希望する人が多いことが明確になっています（内閣府『高齢社会白書 平成30年版』）。

一方、介護に従事する職員数は増加していますが、上記『高齢社会白書 平成30年版』のデータによると、家族の介護のために離職する状況を表す「介護・看護の理由による離職者数」の中、介護・看護の理由

による離職者の人数が、介護保険実施開始の2000年には38.0千人でしたが、2016年には85.8千人に増加したことが分かります。また、2000年には男性が5.9千人で女性が32.1千人でしたが、2016年には、男性が23.2千人と女性が62.6千人で、男女ともに介護離職者が増えていることが明らかです。さらに、介護者の続柄として、配偶者による介護が最も多く、「要介護者等から見た主な介護者の続柄」のデータでは、70～79歳の男性が21.1%で、80歳以上の男性が22.8%でした（『高齢社会白書 令和4年版』）。70～79歳の女性が29.4%で、80歳の女性が12.6%でした。「老々介護」（高齢者の介護を高齢者が行う）は相当数存在しています。

介護が必要になったときに、自宅で暮らし続けたいという思いを持っている人々をどう支えるのかという問題は本当に重要な課題であり、以上のような現状を確かめながら、解決策を探り、できることから実践していかねばなりません。

（本学 社会福祉学部 准教授）

## コラム 「人間を考える」⑩

### 古典学習の中で

山崎 健太

古典の学習の中で「言ふもおろかなり」という慣用句を見たことがあるだろうか。

「言ふもおろかなり」は直訳すると「言葉にするのもいい加減だ」となり、「言葉では言い尽くせない」ことを表す。問題は、なぜ「言い尽くせない」ことが「おろかなり」になるのか、という点である。

『建礼門院右京太夫集』という歌集がある。建礼門院平徳子、安徳天皇のお母さんにお仕えた右京大夫という女房の日記のような歌集である。平家一門が栄華を誇った時期に中宮徳子に仕えた右京大夫は、中宮の甥である平資盛と恋仲になる。平家一門が都落ちをし、壇ノ浦で一族が入水、恋人がこの世の人でなくなったことを知った彼女は二首の歌を詠む。

なべて世のはかなきことをかなしとは  
かかる夢見ぬ人や言いけむ  
かなしともまたあはれとも世の常にい  
ふべきことにあらばこそあらめ  
「おおかたの人の死を悲しいなんて、  
戦争で恋人を亡くす私のような思いを  
していない人が言ったのだろうか」  
「(私の思いが) 悲しい、とも、あはれ、  
とも世間一般の言葉で言えることであ  
るならよいが」

二首を貫くのは世間一般で使われる「悲し」という言葉に対する不信感である。「みんな簡単に『悲しい』なんて言うわよね。でも、そのレベルの言葉では私の悲しみは表せない。」

これがまさに、「言ふもおろかなり」で形象される事象であろう。「普通の言葉にしてしまったら、私の気持ちをいい加減に表すことになってしまう、だから、言葉では言い尽くせない」のだ。

これは古典世界に限らず、言語の本質に関わる問題ではないだろうか。言葉は「すべての人に通じる」から意味がある。「私だけの特別な悲しみ」を表す表現は、すでに言語たる資格を失っている。個別性を捨象して、一般性にかけていくのが言語の働きだとすれば、言語は常に使用者を裏切っていくことになる。そうした言語の本質に対する決定的な不信感をそのままに表出すると「言ふもおろかなり」という表現が選び取られるのであろう。

我々は言語とともにある。その性質を、表現を通じて見定めながら、人そのもののあり方を考え続けていきたい。

(本学 文学部 専任講師)

# 同朋大学“いのちの教育”センター講座一覧

連続いのちの講座 テーマ “いのち”の教育

会場 Do プラザ 閲覧  
無料

9/26(火) 16:20～17:50

## 天皇の遺族と平安貴族－花山天皇の皇子たちと藤原実資－

講師 手嶋 大侑 (本学 文学部 専任講師)

10/24(火) 16:20～17:50

## 仏教とグリーンケア

講師 吉田 暁正 (本学 仏教文化研究所客員所員)

11/21(火) 16:20～17:50

## 愛されて育つ

講師 神谷 良恵 (本学 社会福祉学部 専任講師)

12/19(火) 16:20～17:50

## 健康に生きていくための ICT

講師 石川 洋 (本学 社会福祉学部 教授)

1/16(火) 16:20～17:50

## いち仏教徒として『未来社会を哲学する』

講師 川口 淳 (本学 仏教文化研究所所員)

開催の有無、実施形態についての最新情報は「大学HP公開講座欄 (<https://www.doho.ac.jp/>)  
でご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

### 所 員

- センター主幹：安藤 弥 (文学部 教授)  
所 員：北島 信子 (社会福祉学部 教授)  
所 員：箕浦 尚美 (文学部 准教授)  
所 員：岩瀬真寿美 (社会福祉学部 准教授)  
所 員：市野 智行 (文学部 准教授)

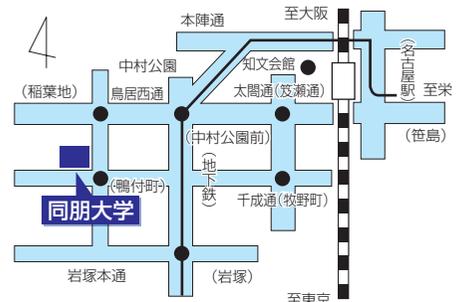
### お問い合わせ先

同朋大学 “いのちの教育” センター

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1

☎ 052-411-1373

### 同朋大学 周辺地図



交通 市バス／栄又は笹島より②系統稲西車庫行、鴨付町下車  
地下鉄／中村公園より⑨系統稲西車庫行、鴨付町下車